



北方領土

平成27年9月(第3号)

発行元:北方領土返還要求運動福島県民会議

福島県民会議通信



「北方領土福島県民会議通信」では、北方領土返還要求運動に取り組む福島県民会議の主な活動の様子について紹介しています。北方領土問題について、ひとりひとりが関心を深めることで、北方領土の早期返還を実現させましょう！

平成27年度総会及び講演会の開催【平成27年6月11日】

福島市の杉妻会館で平成27年度総会を開催し、平成26年度の事業報告及び収支決算、平成27年度の事業計画及び収支予算について承認されました。

また、総会では役員の変更が行われ、8年間会長を務めた齋藤 幸子氏が退任し、新会長として小林 清美 県婦人団体連合会会長が選ばれました。

なお、総会では、北方領土の早期返還の実現に向けて、本県民会議の理事兼事務局長を務める瀧本 チイ 氏が決議文を読み上げ、政府に対し、強い意志と毅然たる姿勢で対露交渉を行うよう求めるとともに、県民意識の高揚を図って政府の交渉を後押しするため、一層の北方領土返還要求運動を進めていくことを、満場一致で採択しました。



あいさつをする小林新会長



決議文を読み上げる瀧本理事



総会に引き続き、NHK解説委員 山内 聡彦 氏を講師にお招きして、「どうなる北方領土交渉」と題した講演会を実施しました。

講演では、最新の日露関係やウクライナ情勢について分かりやすい解説があり、参加者からは「具体的なお話をいただき勉強になった。さらに関心を深めることができた。」等の感想が寄せられました。

← 講演をするNHK解説委員 山内氏

北海道・東北ブロック連絡協議会【平成27年7月24日】

この会議は、北方領土返還要求運動の推進を図るため、北海道・東北各県の担当者らが一堂に会し、情報の共有や今後の課題等の協議を行うものです。今年度は岩手県民会議が主管となり、盛岡市内で開催されました。

会議では、返還要求運動の担い手の育成と確保、教育者会議の現状や課題等について意見交換をするなど、活発な議論が交わされました。

また、各道県より「青少年等現地視察支援事業」の継続の要望が出され、協議会に出席した(独)北方領土問題対策協会の担当者は、要望が強いことを確認したので継続できるよう努力したい旨を回答しました。

(写真提供: 北方領土返還要求運動岩手県民会議)



協議会の様子

北方領土青少年等現地視察支援事業【平成27年7月25日～28日】

福島県民会議の主催により、15名(小学6年生10名、引率教員3名、福島民報記者1名、事務局1名)の視察団を組織して、3泊4日で実施しました。

本事業は、青少年等を主な構成員とした視察団を北方領土隣接地域に派遣して現地視察等を実施することにより、参加者に北方領土問題を身近な問題として捉えてもらい、もって返還要求運動を継承してもらうことを目的とするものです。

視察団一行は、北方領土隣接地域(根室市、別海町、標津町、中標津町)を訪問し、根室市の納沙布(のさっぷ)岬より北方領土(歯舞群島)を望見したほか、啓発施設の見学、元島民の講話聴講などを通して、北方領土問題への理解を深めました。

参加児童からは、「北方領土問題について知れば知るほど、日本の領土について守らなければならないという気持ちが強くなった。」「元島民の方の高齢化が心配になった。問題が風化してしまわないように、応援したい。」等の感想が寄せられ、今後の彼らが返還要求運動を継承していくことが期待されます。



納沙布岬より北方領土を望む



元島民 福澤英雄さんとの記念撮影

北方四島交流訪問事業（一般；都道府県民会議主体）【平成27年7月23日～27日】

本事業は、北方領土返還要求運動関係者等が北方四島を訪問し、各島に在住するロシア人との交流を図り相互理解を深めることにより、北方領土問題の解決促進に資するために実施するものです。

都道府県民会議を中心に全国各地の返還運動関係者等が国後島(1日)と色丹島(2日)を訪問するもので、本県民会議では、会員団体であるボーイスカウト福島連盟から副理事長の安齋 精児 氏が参加しました。

国後島では、日本人墓地の墓参り、郷土史博物館の見学、夕食交流会を行いました。色丹島では、住民交流会において文化交流として阿波踊りを披露しました。ロシア側からも歌や踊りの紹介があり、引き続き行われた意見交換会では伝統文化について話し合いを行いました。そのほか、ホームビジット、日本人墓地の墓参り、施設の視察・見学(病院、学校、発電所、消防署、幼稚園、教会、商店街)を行いました。

(写真提供: (独)北方領土問題対策協会)



文化交流(色丹島)で阿波踊りを披露



日本人墓地の墓参り(色丹島)

北方領土返還運動全国強調月間【平成27年8月】

8月は「北方領土返還運動全国強調月間」であり、全国で講演会やパネル展などの行事の開催、各種媒体による広報が実施され、積極的な返還要求運動が展開されました。

本県民会議では、北方領土返還に関する県民意識の高揚を図るため、路線バス(福島市及び郡山市内)のバスマスクによる啓発広告を実施し、また、県の協力により地元新聞の「福島県からのお知らせ」コーナーで全国強調月間について広報を行うなど、運動への理解と参加を広く呼びかけました。



バスマスクによる啓発広告

北方領土返還教育指導者現地研修会【平成27年8月4日～5日】

(独)北方領土問題対策協会の主催により根室市内で開催されました。この研修会は、全国の学校教育現場の社会科担当教員等に北方領土問題の知識の習得と認識を深めてもらうとともに、北方領土教育の一層の充実を図ることを目的として実施するものです。

全国の教育関係者約60名が参加し、福島県からは県北地方の中学校より社会科担当教員1名が参加しました。

研修会では、納沙布岬からの北方領土の視察、北方四島交流センターの見学、元島民の体験談の聴講のほか、北方領土周辺海域の現状を知ってもらうために漁業関係者を招いての講演、地元高校生が行っている出前講座などが行われました。

参加者は、研修の成果を踏まえて「授業構成案づくり」を行い、2日間の研修を終了しました。

(写真提供: (独)北方領土問題対策協会)



授業構成案づくりを行う参加者

北方領土青少年交流のつどい【平成27年8月6日～7日】

本事業は、北方領土問題の早期解決に向けて、次代を担う青少年の北方領土問題に関する正しい知識の習得を目的として実施するものです。今年度は岩手県民会議が主管となって盛岡市内で開催され、福島県からは、いわき市の中学校より中学2年生2名と引率教員1名が参加しました。

参加者は、平成26年度に北方領土教育指導者現地研修会(根室市)に出席した岩手県内の中学校教諭より「北方領土に関する模擬授業」を受けた後、岩手県在住の元島民(国後島出身)の眞下 清 氏より当時の体験談などを聞きました。

また、宮沢賢治の童話「銀河鉄道の夜」をモチーフとして、終戦直後の色丹島を舞台に、ソ連の占領に伴い激変した島民の暮らしを描いたアニメーション映画「ジョバンニの島」の鑑賞、「宮沢賢治記念館」の見学なども行われました。(写真提供:北方領土返還要求運動岩手県民会議)



模擬授業を受ける中学生ら

【編集・発行】

北方領土返還要求運動福島県民会議

事務局：〒960-8670 福島市杉妻町 2-16 (福島県総務部県民広聴室内)

TEL:024-521-7013 Fax:024-521-7934 Mail:koucho@pref.fukushima.lg.jp



イメージキャラクター「エリカちゃん」、「エリオくん」